



本物に触れるとき。



【今月の表紙】この秋、市内の小・中・義務教育学校で芸術鑑賞会が行われました。このうち中学校では「能楽ワークショップ」と題し、牛久市在住で重要無形文化財総合指定保持者の山中一馬氏(写真右下)をはじめとした能楽師の皆さんによる体験授業が行われました。

10月31日、牛久第一中学校の生徒たちも、舞や笛、小鼓、大鼓の体験後、半能「敦盛」を鑑賞しました。初めて能に触れた生徒も多く、「実際に見ると迫力があって、でも一つ一つの動きは細やかで見入ってしまいました」などの感想を聞かせてくれました。